

Service News [サービス・ニュース]

問い合わせの多い質問 ①

Q 電話帳はありますか?

Answer 全国のタウンページ(職業別電話帳)・ハローページ(50音別電話帳)の最新版が2階パープルゾーンにあります。

問い合わせの多い質問 ②

Q 住宅地図はありますか?

Answer 千代田区の住宅地図とブルーマップは、2階の図書総合カウンター内にありますので、ご利用になる場合は、カウンターにてお申し出ください。23区の住宅地図・ブルーマップは、2階パープルゾーン(新聞架の横)にあります。
※ブルーマップは千代田区の隣接区のみ所蔵しています。

電話帳、住宅地図ともに、館内閲覧のみで館外貸出はできません。

9月の展示情報 Exhibit Information 9月の展示情報 ※展示情報は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン 「幕末の世界～大政奉還から150年～」(～9/15) 大政奉還から150年の節目を迎える2017年、パープルゾーンでは幕末の中心人物や事件、舞台となった場所などに関する本を展示するとともに、同時期の海外の文化や出来事も紹介します。

日比谷カレッジ「将来型モビリティは近い将来を変えるか?」関連展示(三角台～9/12) NEW!

2F ホール 「千代田区生きものさがし 2017」関連展示(～10/31)

3F フルーツゾーン 「デザイン考」(～12/15) NEW! 日常生活で目にする、ポスターや雑誌の広告、商品のパッケージなどにはすべてグラフィックデザインが施されています。そんなグラフィックデザインにまつわる資料を紹介します。

3F グリーンゾーン 「見知らんJAPAN～地域の魅力再発見～」(～10/13) 今注目されている地域創生や地方移住。地域の活性化や魅力を紹介しているフリーペーパーを、その地域について書かれた本とともに展示します。日比谷から日本各地の情報を発信していきます。

From Chiyoda Public Library [千代田区立図書館からのお知らせ]

●千代田図書館企画展示● 書評紙が選ぶ、今すぐ読みたいベスト16



日本を代表する書評紙「週刊読書人」と「図書新聞」が、この1年間に紙面で紹介した書籍の中から、「日本の文学」「海外の文学」「哲学・思想」「政治・社会」「ルポルタージュ」「歴史」「サイエンス」「芸術」の8つのカテゴリごとにベストな1冊をセレクト。その16冊を、両紙のコメントとともにパネルで紹介するほか、両紙が推薦する約150冊を展示(貸出可)しています。

■会期:開催中～10月21日(土曜日) ■場所:千代田図書館9階 展示ホール
■主催:千代田区立千代田図書館 ■共催:株式会社 読書人/図書新聞(武久出版株式会社)

日比谷カレッジ報告

「池波正太郎と『鬼平犯科帳』の魅力」
～鬼平犯科帳誕生50年～
開催日:7月21日(金)
講師:鶴松房治 (池波正太郎記念文庫、池波正太郎) 真田太平記館・指導員

私的なアシスタントも務めていた鶴松氏を講師に迎え、作家・池波正太郎の生い立ちや人となり、「鬼平犯科帳」の誕生にまつわるエピソードや魅力などについてお話しいただきました。「鬼平犯科帳」が今も幅広い世代の人々の心を捉えているのは、組織を描いたという点や長谷川平蔵を現代にも通じる理想的なリーダー像として描いた点にあるとの指摘に、頷く参加者の姿も多く見られ、作品を理解する上でとても参考になった、また再読したいなどの感想をいただきました。

「写真フィルムを後世に伝える」
～収集・保存・アーカイブ～
開催日:7月28日(金)
講師:松本徳彦 (公益社団法人日本写真家協会副会長)

フィルムや乾板といった写真の撮影原稿を守り後世に伝えるため、収集・保存を行っている日本写真保存センターの活動について、湿度の多い日本での適切な保存環境など具体的な事例と豊富な写真でわかりやすく解説していただきました。自宅にある写真フィルムの保存に関して熱心な質問があったほか、日本と比べ写真の修復技術やアーカイブ化が進む海外の状況について、強い関心の声寄せられました。

わたしの一冊 『本の運命』 井上ひさし 著

本に命があるとすれば、それが終わるのはいつだろうか。内容が陳腐になったときか、破れたり汚れたりしたときか。本は人の手に取られることで生きるのであり、図書館には読者を待って輝かんとする本がまたある。本について書くにあたりふと心に浮かんだのが本書であった。本と遊ぶことに長け、まさに本と生きた稀代の作家の履歴書である。



千代田区立日比谷図書文化館 広報誌



旅へ出るとは、美しい景色に感動したり、美味しい食事を堪能するなど、日常生活から離れた楽しみが数多く待っています。しかし、旅の楽しみは景色や食事を楽しむだけのものではありません。これから訪ねる地域の歴史や人々の暮らしを事前に学ぶことや、旅先で知った新たな興味を調べなおすことは、旅の楽しさをより一層広げるものです。また、旅は場所を移動するだけに留まりません。様々な本が私たちを「時代への旅」「空想への旅」「未来への旅」などに連れ出します。今秋、日比谷図書文化館をめぐる、展示や本とともに、新たな旅の第一歩を始めませんか?

日比谷から旅に出る。

[2F●パープルゾーン] 観光情報コーナーがバージョンアップ!

世界各地の旅行ガイドブックや外国語で日本を紹介している資料を、2Fのパープルゾーン「観光情報コーナー」に集めました。向かいの棚には、東京の観光情報や千代田区ガイドなどの資料も並んでいます。旅の行き先が決まっている方はもちろんのこと、これから何処に行こうか?迷っている方のお役に立ちます。



[3F●グリーンゾーン] 見知らんJAPAN ～地域の魅力再発見～ 10/13(金)

活性化をはかる日本の各地域の試みに焦点をあて、特色のある各地域のフリーペーパーを紹介しています。また、日本遺産や観光政策に関連した資料も展示。「新たな日本」が発見できます。

8/22→10/13 関西エリア、中国・四国エリア、九州・沖縄エリア



江戸湾ウェスター島(夏島)からの風景、『米艦隊日本遠征録 第1巻』フランシス・L・ホーク 1856年/特別研究室蔵

calendar 開館時間:平日10時～22時 ■土曜10時～19時 ■日祝10時～17時 ■休館日

2017年9月							2017年10月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	1	2	3	4	5	6	7
3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14
10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21
17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
24	25	26	27	28	29	30	29	30	31				

■お問合せ先:千代田区立日比谷図書文化館 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL:施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL:http://hibiyal.jp



access [都営地下鉄] ●都営地下鉄「内幸町駅」A7出口 徒歩3分 [東京メトロ] ●丸ノ内線 ●日比谷線 「霞ヶ関駅」B2出口徒歩3分 ●千代田線 「霞ヶ関駅」C4出口徒歩3分 JR「新橋駅」徒歩10分 ※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

9・10月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

9/12 (火) 将来型モビリティは近い将来を変えるか？

講師：太田 志乃（一般財団法人機械振興協会経済研究所 調査研究部 研究副主幹）
ナビゲーター：志水 正敏（日本科学未来館 科学コミュニケーター）

移動距離を問わず便利な乗り物「クルマ」。しかし超高齢社会を迎える日本にとって、四輪車タイプのそれは必ずしもベストとは言えません。これからの乗り物である「将来型モビリティ」の、自動車産業で培われた技術を用いた実際の取組や、今後の可能性を考える講座です。（協力：一般財団法人機械振興協会BICライブラリ）

■日時：9月12日(火) 19:00～20:45(18:30開場)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：200名 ■参加費：1000円

9/15 (金) 千代田区民講座 あらゆる危機を跳ね返す生き方 ～ピンチをチャンスに変える決断力

講師：黒澤 眞次（イカリ消毒株式会社代表取締役会長）

昭和38年、取引先のデパートでの業務中、当時戦後最大と言われる火災事故を起こす。死者を出した大惨事にも関わらず、会社存亡の危機をいかに乗り越えたのか。社会の役に立つ「心の経営」の実践を語ります。

■日時：9月15日(金) 19:00～20:30(18:30開場)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員：60名 ■参加費：無料

9/16 (土) ピースビレッジ第56回 「芸術と社会変革のあいだ」のプロデュース

講師：桜井 肖典（一般社団法人RELEASE; 代表理事）

風土と人の戯れが文化を育み、それが地球規模で交響できる現代だからこそその生き方があるように思います。京都を拠点に年の半分近くをInter-LOCALに動き続けるなかで見えてきた個々の協働する共同体としての組織のかたちを、各地の仲間達の実例も交えながら、みなさんとともに深めてみたいと思います。（主催：NPO法人 世界連邦21世紀フォーラム、共催：日比谷図書文化館）

■日時：9月16日(土) 14:00～16:30(13:30開場)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員：60名 ■参加費：3000円



9/19 (火) HIBIYAイノベーション・キャンパス2017【講演会】 イノベティブな問題解決の切り口を デザインマネジメントの視点から考える

講師：田子 學（慶應義塾大学大学院SDM研究科特任教授）
松坂 浩志（株式会社塩山製作所 代表取締役）

社会における不確実性・複雑性が増す今、イノベティブな問題解決策が求められています。企業から地方創生まで幅広いビジネス現場で活躍される田子さんに、大きな問題をどのように捉え直しイノベティブな解決の糸口を見つけたのか、今話題のMGVsファイナリーの松坂さんとの対談も交え、デザインマネジメントの視点からお話しいただきます。（協力：慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科附属SDM研究所イノベティブデザインセンター）

■日時：9月19日(火) 19:00～21:00(18:30開場)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：150名 ■参加費：1000円



田子 學



松坂 浩志

〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

9/21 (木) ニュースを読み解く技術 「ポスト真実」時代のリテラシー

講師：松林 薫（株式会社報道イノベーション研究所 代表取締役）

新聞、テレビ、ネット……様々な情報が溢れ、真実もフェイクニュースも見分けがつきにくくなった現代。ニュースのどこに注目をすれば「真実」が見えてくるのか――。日経新聞の元記者が、ニュースを深く読み解くための技術を、わかりやすく解説します。

■日時：9月21日(木) 19:00～20:30(18:30開場)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：200名 ■参加費：1000円



9/22 (金) イギリスのカントリー・ハウス

講師：新井 潤美（上智大学文学部教授）

貴族や大地主が暮らす館「カントリーハウス」はイギリスの貴重な文化遺産であり、その多くは観光の大きな部分となっている。美術品や建築、庭園だけでなく、博物館やサファリ・パークなどで人気を集めている館もある。この講座ではイギリスのカントリーハウスと観光の関係を見ていきたいと思います。

■日時：9月22日(金) 19:00～20:30(18:30開場)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員：60名 ■参加費：1000円



イングランド ベッドフォードシャー州のウォバーン・アビー

9/27 (水) 江戸歴史講座 第45回 悩み苦しんだ人、徳川光圀

講師：吉田 俊純（筑波学院大学名誉教授）

徳川光圀は水戸黄門として日本人なら誰でも知っている。明君で人格者の印象です。しかし、光圀の一生は政治的にも思想的にも苦難の道でした。最後は將軍綱吉との対立です。光圀の隠居は事実上の処罰でした。それでも光圀は自分の意志、名を伝える努力をしたのです。本講演では、そんな徳川光圀の本当の姿に迫ります。

■日時：9月27日(水) 19:00～20:30(18:30開場)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員：60名
■参加費：1000円(千代田区民500円)



千波湖畔の徳川光圀公像

9/29 (金) 本のか ラジオのか 音楽のか

講師：千倉 真理（千倉書房取締役・ラジオパーソナリティ）

女子大生ラジオDJとして活躍し、昨秋3年ぶりにラジオパーソナリティに復帰した千倉真理さんは、大事な人に贈りたくなるアート絵本のプロデュースも手がけています。本を通して、ラジオから流れる声や音楽を通じて、人と「つながる」ことの喜びをお話しいただきます。

■日時：9月29日(金) 19:00～20:30(18:30開場)
■会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■定員：200名 ■参加費：1000円



10/3 (火) 江戸歴史講座 第46回 第10回 EDO ART EXPO関連講座 ダイヤモンドの煌き―江戸の華・切子の魅力

講師：土田 ルリ子（サントリー美術館学芸副部長）

西洋からもたらされたカットガラスの美しさに憧れ、江戸後期に花開いた日本の切子。人々は清々しいその輝きから、「ぎやまん」(オランダ語でダイヤモンドの意)と名づけ、珍重いたしました。今もなお継承される精緻な技と粋な意匠。その煌きの美を、成り立ちから紹介します。

■日時：10月3日(火) 19:00～20:30(18:30開場)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員：60名 ■参加費：1000円(千代田区民500円)



切子文具揃一式
江戸後期～明治前期(19世紀)
サントリー美術館蔵

10/4 (水) 日本の女性画家たち～平安時代から近・現代まで～ 第3回 20世紀に活躍した女性画家たち

講師：三戸 信恵（山種美術館特別研究員）

20世紀は女性画家がめざましい活躍をみせた時代です。今回は、官展で上村松園とともに人気を博した池田蕉園や、日本初の女性のための美術学校で学んだ片岡球子など、大正から昭和という激動の時代に自らの道を切り拓いた女性画家たちの多彩な歩みをご紹介します。

■10月4日(水) 19:00～20:30(18:30開場)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：1000円

10/6 (金) 展覧会への入口講座Vol.22 〈江戸の琳派〉の魅力 ―江戸っ子が生んだ新たな美意識

講師：廣海 伸彦（出光美術館学芸員）

19世紀に活躍した酒井抱一やその弟子・鈴木其一が〈江戸の琳派〉と呼ばれるのは、京で生まれ育まれた〈琳派〉の芸術、とくに尾形光琳に憧れ、その評価に努めたことに由来します。この講座では、出光美術館で開催される「江戸の琳派芸術」展にちなみ、彼らが目指した芸術の特徴とその魅力を紹介します。

■10月6日(金) 19:00～20:30(18:30開場)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
■定員：60名 ■参加費：1000円(千代田区民500円)



四季花木図屏風(左隻)
鈴木其一 江戸時代
出光美術館蔵

10/12 (木) 英国庭園とは何か

講師：安藤 聡（大妻女子大学比較文化学部教授）

「英国庭園」とはどのような庭でしょうか。クロード・ロランの絵のような風景庭園、あるいは多種多様な花が咲き乱れるコテージ・ガーデンでしょうか。本講座ではイングランドで独自の庭園様式が成立した18世紀から現在までの英国庭園の歴史を概観し、代表的な庭を写真で紹介したいと思います。

■10月12日(木) 19:00～20:30(18:30開場)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：1000円



スタウアヘッド(ウィルトシャー州)
英国式風景庭園の最高傑作のひとつ
撮影：安藤 聡氏

10/14 (土) 世界の音楽 2017-2018 月琴の世界～幕末から明治時代に流行した明清楽の代表楽器～

講師：稲見 恵七（明清楽器研究者）

月琴・胡琴・唄：山田 慶子（元 長崎明清楽保存会理事）

江戸時代中期に中国の明朝時代末期に浙江省や福建省などから伝わった明楽、江戸時代後期に清国から伝わった中国南方の俗曲が中心の清楽。長崎に入りする中国商人によってもたらされた明清楽が、長崎の風土にあった替歌や民謡に発展した様や、現在もいかに引き継がれているかを紹介します。

■日時：10月14日(土) 14:00～15:30(13:30開場)
■会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員：60名 ■参加費：1000円



稲見 恵七 山田 慶子

予告 平成29年度文化財特別展
共同企画特別展(新発見「江戸始図」関連展示)

江戸始図(松江歴史館所蔵)

松江城と江戸城



秋の特別展として、今年島根県松江市で発見された「江戸始図」を中心に島根県・松江市と共同で企画した「松江城と江戸城」と題した展覧会を開催します。この展示では、国宝になった松江城天守と「江戸始図」を含む全国の城下町図である「極秘諸国城図」を紹介します。この絵図の解析を通して、徳川家康の江戸城に迫ります。

■会期：9月19日(火)～11月19日(日) 10月16日休館 ■会場：1階特別展示室
■時間：平日午前10時～午後8時/土曜日午前10時～午後7時/日曜・祝日午前10時～午後5時 ■入場無料 ■問い合わせ：文化財事務局 TEL:03-3502-3348

古文書塾でらこや 体験講座 各回 1,000円

「古文書塾でらこや」は古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学習を進めています。10月期の開講に合わせ、この度古文書の世界に無理なく入っていける「体験講座」をご用意いたしました。各コース別の体験講座実施日は下記の通りです。まずは体験講座をお試しください。

	講座名	曜日・時間	初回日
入門コース 120分	古文書のいろは 筆字のくずし字	(月) 10:30～	10/2
		(火) 10:30～	9/19
		(火) 13:30～	9/19
		(木) 13:30～	9/21
		(金) 13:30～	9/29
		(金) 18:30～	9/22
	いろはの次 一 大江戸大変	(月) 18:30～	9/25
	いろはの次 一 江戸時代の海外知識	(金) 10:30～	9/22
本科コース 120分	文人画と碑文 一 掛軸を読む	(月) 18:30～	9/25
	武家文書を読む 一 幕府崩壊事情	(水) 13:30～	9/20
	江戸のコミック(黄表紙)と滑稽本を読む	(金) 18:30～	9/15
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(応用編)	(土) 13:30～	9/16
	翻訳者育成講座【協力・大阪観光大学】 国文学研究資料館蔵「源氏物語 若紫」を読む	(土) 14:30～	10/7
特別講座 90分	自分の花押(かおう)を持ってみませんか	(火) 13:30～	9/26
	大久保利通の手紙を読む	(火) 19:00～	9/26
	浮世絵を読む【紅色クラス】【藍色クラス】※合同開催	(水) 10:30～	9/27
	江戸美人を探る―江戸のファッション事情	(水) 13:30～	9/27
	豪商 三井の最高意思決定―「大元方」の史料を読む	(水) 19:00～	10/4
	江戸を楽しむ 一 続・江戸の寺社あれこれ	(木) 18:30～	9/21
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土) 10:30～	9/16

■参加費：各回1,000円 ■会場：4階セミナールーム(会議室)
■定員：各講座 23名 ■資料請求・体験講座のお問い合わせ：
電話(03-3502-3340) 日比谷図書文化館代表 古文書塾でらこや担当迄

特別研究室 企画展示

触れて発見! 時代で比べるブックデザイン展

「造本装幀コンクール」受賞作品 × 内田嘉吉文庫 10月1日(日)まで開催中

毎年優れたブックデザインを表彰する「造本装幀コンクール」第50回(2016年度)受賞作品を、内田嘉吉文庫の特色のある装幀本とともに展示し、時代で変わるブックデザインの歴史に触れられます。



第50回造本装幀コンクール経済産業大臣賞
「サイエンスペディア1000」(株式会社カヴァー・トゥエンティワン)

ポモータ広報室より

館内を歩いていると、様々な本に出会います。不思議なことに今ちょうど取り組んでいる事や興味のある事、知りたかった本が見つかります。それはまるで、本から語りかけられているようです。図書フロアでは、各フロアごとのテーマで展示や関連図書を紹介しています。きっと今のあなたにピッタリな本が見つかるはずです。日比谷図書文化館の本の旅へ是非いらしてください。